

化学と教育

第72巻 第8号 2024年 目次

ヘッドライン 研究倫理の重要性とその指導について

高等学校において2022年度から教科「理数」が新設され、「総合的な学習の時間」から「総合的な探究の時間」に名称が変更され、自ら課題を設定し、情報を得て考え、表現・発信する習慣を身につけることがより強く求められるようになった。その際に、適切な研究倫理教育がなされないと、悪意はなくても無自覚に研究不正が行われかねないため、初等・中等教育段階での研究倫理教育の推進が重要になる。そこで、研究倫理が求められる背景や場面とその必要性、児童・生徒・学生、あるいは研究対象に対して倫理的な問題が生じないよう配慮すべき事柄と手続き、倫理的欠如が生じた場合への備えと対応、児童・生徒・学生への指導法、指導事例などについて解説する。

高校生が学ぶ初めての研究倫理	野島 高彦	312
「課題研究」と「研究倫理教育」	三好 徳和	316
高等学校の科学クラブの場での研究倫理教育		
—課題研究を題材にしたケーススタディー—	鈴木 崇広	320
探究型の学びがもたらす研究倫理教育の実践報告	多羅尾（菊地原）沙織	324

◆ 化学教育 徒然草		
北海道教育大学で過ごした40年	蠣崎 悌司	309
◆ 実験の広場		
ビギナーのための実験マニュアル		
染色で実感する繊維の特色 —水素結合, イオン結合, 分子間力—	後飯塚由香里	328
化学クラブただ今実験中!		
関東学院六浦中学校・高等学校 化学部	大高 健	330
◆ 新・講座：量子ビームで拓く化学の世界		
①放射光と身近な化学	宇佐美徳子	331
②大強度中性子を用いた物質構造解析	岩瀬 裕希	335

表紙の言葉 群馬県立桐生高等学校

群馬県立桐生高等学校は、平成10年度に普通科のみの男子校から、男子のみの普通科と男女共学の理数科を併設する高等学校となった。平成19年度にSSH第I期指定を受け、第II期までは理数科生徒を中心としたプログラム開発を実施した。平成29年度にはSSH第III期指定を受け、全校生徒を対象としてSSH活動を実施している。令和3年度には群馬県立桐生女子高等学校と統合し、理数科、普通科ともに共学となり、新しい桐生高等学校となった。令和4年度からは、SSH第IV期指定を受け、SSH活動のさらなる充実と成果の普及を図っている。

◆ 話題

国際関係小委員会報告：9th NICE — 東アジアの化学教育関係者のネットワーク —

栗山 恭直..... 339

◆ Color Gallery

実験の広場 染色で実感する繊維の特色 —水素結合，イオン結合，分子間力—

後飯塚由香里..... 口絵 14

会告

△ 日本化学会から

2024年度日本化学会フェロー候補者の募集..... 340

会員委員会からのお知らせ..... 342

■ 行事一覧..... 343

■ 編集後記..... 344

次号ヘッドライン

同位体化学の医療利用